

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |                               |    |           |
|----------------|-------------------------------|----|-----------|
| ○事業所名          | アプリ児童デイサービス東向島                |    |           |
| ○保護者評価実施期間     | 2024年 12月 8日 ～ 2025年 1月 15日   |    |           |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)                        | 36 | (回答者数) 34 |
| ○従業者評価実施期間     | 2024年 12月 10日 ～ 2024年 12月 31日 |    |           |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)                        | 6  | (回答者数) 6  |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年 1月 15日                  |    |           |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み(※)だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること                                 | 工夫していることや意識的に行っている取組等                                                                                              | さらに充実を図るための取組等                                               |
|---|----------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|
| 1 | 交通ルールや危険なもの、場所へ児童がいかないように常に気を配れている。保護者の方からもお褒めの声をいただくことが出来ている。             | 手をつないで歩くことの徹底。さんば前に児童ヘルールを説明。手を放し一人で歩く児童は列の真ん中(職員で挟む)を歩く。等の対応をしている。一人で歩くことは自立に向けても必要な要素なので特に力を入れている                | 定期的にミーティングを行い職員間で歩くという事の大切さの共通認識を持ち支援に取り組む                   |
| 2 | 送迎時に保護者様へ一日の様子を共有。記録の文字だけでは伝えきれない細かなニュアンスも伝えるよう心掛けており評価もしていただけている。         | 送迎時における保護者様との会話はとても大切にしており些細なことでも送迎後のミーティングで共有している                                                                 | 今後も継続、徹底していく。                                                |
| 3 | ありがたいことに通所を皆様楽しみにしてくださっている。なるべく自然な放課後に近づけてその中で社会性を身につけ自立に向けた準備を行っていることが要因。 | 喧嘩をしたとしても職員がすぐに答えを出すのではなくヒントを与え当人同士で達成することが出来た。という達成感を感じてもらう等、お手伝いではなくあくまで自分で何でもできる！と感じてもらい自己肯定感を上げれる機会を意図的に作っている。 | 現状に満足することはせずミーティングで児童の現状を把握今すべきことを保護者様や関係機関とも相談しつつ支援に取り組みたい。 |

|   | 事業所の弱み(※)だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等                                           | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等                              |
|---|--------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------|
| 1 | 保護者様と職員の間で職員の配置に対する認識に差がある。                | 1日あたり5～6名のスタッフを配置しているが職員間ではもう一人支援員がいればより細やかに支援をすることが可能と考える。 | 採用活動による人員の補充、スタッフ間での支援の質に差が出ぬよう研修やミーティングを密に行う。    |
| 2 | 各種SNSの運用をしているが認知度が低いのではないかと感じる             | 手紙を出してはいるものの操作に疎い方もいらっしゃるのではないか。説明の仕方を考える必要がある。             | 個別に対応できる環境を施設長を中心に作り時間を設ける。                       |
| 3 | 様々な年代の利用者様が通所しており同時に楽しめるプログラム作成が難しい        | 小学1年生～高校2年生と幅広い年代の利用者様が通所している。                              | ご利用者様の発達に応じて役割を与え各世代に合わせた活躍が出来るようなプログラムを企画実行致します。 |